

人と街 みんなで創る 武校区
まちづくりプラン
第2期（令和7年度～令和11年度）



桜島と徳の交わり（鹿児島市武2丁目西郷屋敷跡）

～未来輝く 明るく住みよい まちづくり～
武校区まちづくり協議会

TEL 099-202-0706 Fax 099-202-0509

目 次

I 武校区の概要

1 武校区の沿革	1
2 武校区の人口等	1
3 武校区の地図	3

II 「第1期まちづくりプラン」の振り返り

1 第1期の成果と課題	4
2 各部会事業等の反省・評価	4
3 活動の様子	9

III 「第2期まちづくりプラン」

1 計画の期間	1 1
2 武校区まちづくりの目標	1 1
(1) まちづくりのスローガン	
(2) 運営方針	
3 まちづくり協議会組織	1 1
4 武校区まちづくりプラン（振興計画）	1 2

IV 資料編

1 「第2期まちづくりプラン」策定委員会名簿	1 9
2 アンケート調査結果	1 9

I 武校区の概要

1 武校区の沿革

(1) 武校区の沿革

鹿児島市西南部の丘陵地である武岡と新川の流域に広がる地域の中央を占める「武」「唐湊」「田上」及び「上荒田」周辺は、近世の頃から用水と田園の開拓が進み、大正2年、鹿児島線の開通に合わせて武駅が設置され、指宿線の開通もあり、関連施設である工機部等が設置された。

また、昭和12年には武小学校が開校し、令和6年度で、創立88年を迎えた。

武校区は、武1～3丁目、唐湊1・2丁目、上荒田町の一部及び田上2丁目の一部からなり、令和2年10月1日現在、世帯数約7,027、人口約12,775人が暮らしている。

平成30年2月4日に、これまで校区民のつながりを支えてきた校区公民館運営審議会を発展的に解消し、「武校区まちづくり協議会」を設立した。協議会設立後は、各町内会や賛同する構成団体が一堂に会し、旧校区公民館運営審議会関連の組織、校区社会福祉協議会及び校区あいご会等が連携し合って、安心安全、環境美化、青少年健全育成、生涯学習及びスポーツ、環境浄化等の分野等において、住民が協力してまちづくりに取り組んでいる。

武校区は、鹿児島中央駅に近接する鹿児島市の中心部に位置し、常盤・武岡・新武岡の3本のトンネルと縦横に走る幹線道路があり、県都鹿児島市と周辺を結ぶ交通の要衝となっており、多くの県民が行き交う地域である。

九州新幹線開設工事の際に発見された武遺跡は、鹿児島中央駅の下に広がる約5千年前の縄文時代から人々が生活してきた土地で、古墳時代には多くの人が住んでいた集落があり、竪穴住居がその周辺に溝が廻らされていたことがわかっている。

(2) 武校区にある地名の由来

＜ 武 ＞ 地名の由来は、産土神である建部神社に因む説と、当地域に稲田が多かったため、「田毛」（タケ）と言われるようになったという説がある。武村は、南北朝期から戦国期に見える村名である。（鹿児島県地誌より）

＜ 唐 湊 ＞ 唐渚（トウショ）とも書き、「・・・昔時は、海岸で漢土の船舶を繁泊せしを以って唐渚の名あり。今変じて田や人家がある・・・」と記されている。

（鹿児島県地誌より）

＜ 上荒田 ＞ 鎌倉期から戦国期にみえる荘園名である「荒田」の地域で、明治44年に一部を西武田村に編入し、同時に上荒田と改称した。

＜ 田上天神 ＞ 田上は、鎌倉期から戦国期にみる村名である。大永3年の坪付に「薩摩国鹿児島郡田かミ名之内」とあり、戦国期には、田上名とよばれたのであろう。」と記されている。（鹿児島県地誌より）

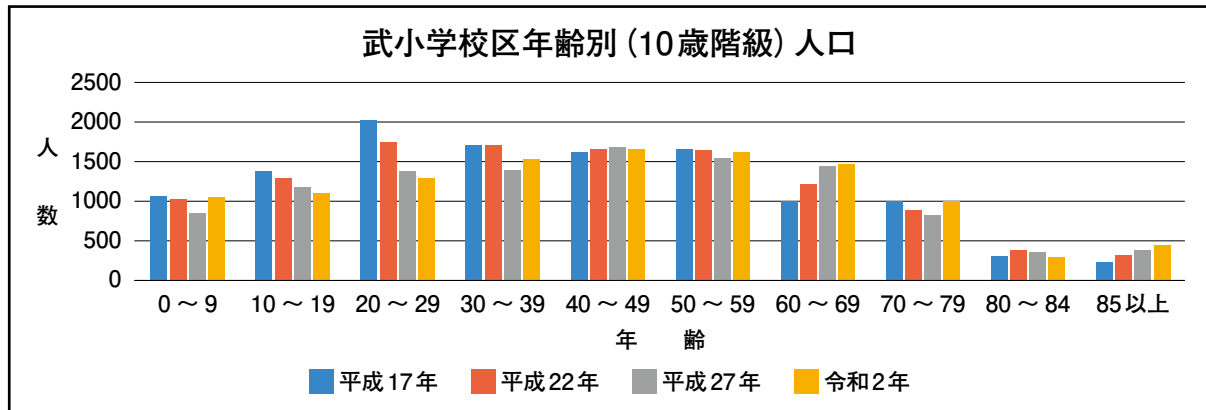
2 武校区の人口等

(1) 武小学校区の世帯数・人口の推移（国勢調査）

年 度	世帯数	人 口			高齢化率 (65歳以上)
		総 数	男	女	
平成17年度	5,971	12,006	5,593	6,413	16.6%
平成22年度	6,035	12,053	5,581	6,472	17.3%
平成27年度	6,288	11,615	5,369	6,246	19.1%
令和2年度	7,027	12,775	5,970	6,805	19.4%

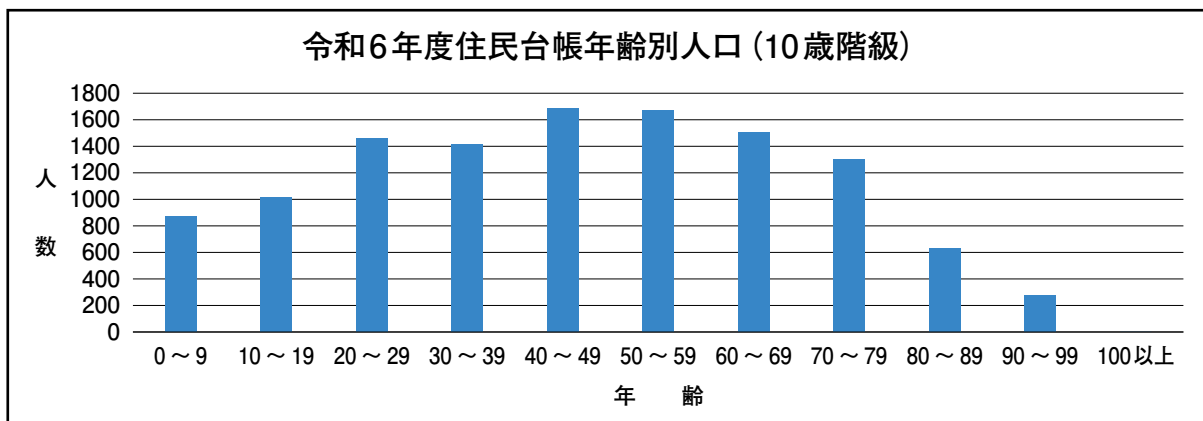
(2) 小学校区年齢別（10歳階級）人口 <平成17年・22年・27年・令和2年国勢調査>

年齢	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～84	85以上
H17	1070	1371	2035	1717	1618	1667	996	991	314	227
H22	1018	1282	1752	1700	1673	1631	1220	885	393	307
H27	854	1174	1374	1392	1697	1563	1437	830	360	390
R 2	1040	1081	1298	1538	1667	1627	1464	1012	287	442

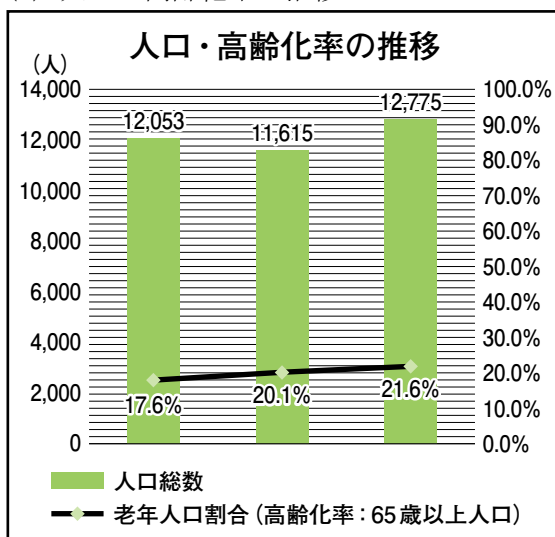


(3) 令和6年度 年齢別（10歳階級）人口 <住民基本台帳> 令和6年4月1日現在

年齢	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上
人数	873	1017	1458	1412	1684	1678	1510	1305	635	280	14



(4) 人口・高齢化率の推移

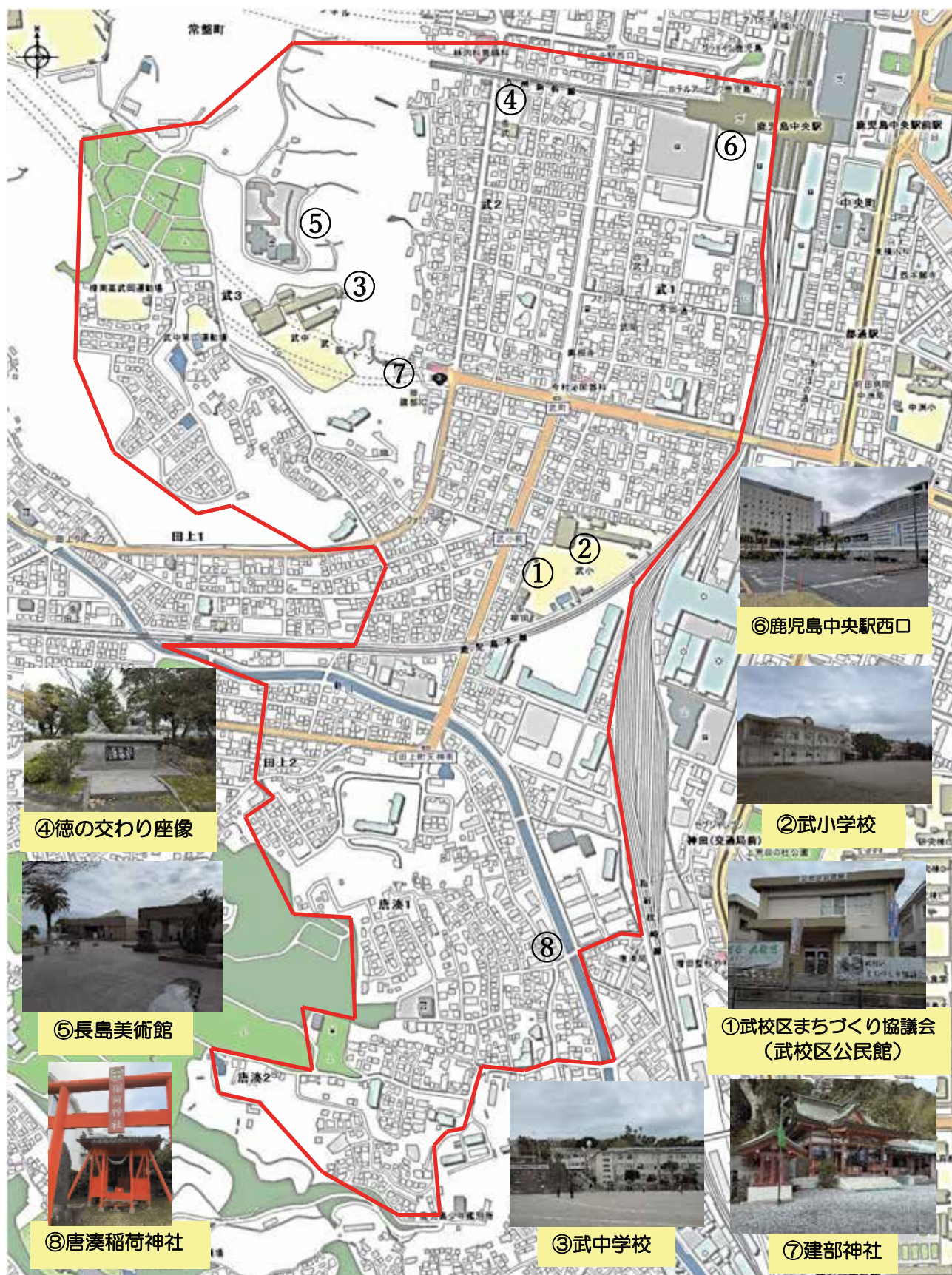


(5) 武小学校児童数の推移 ※ () は特別支援学級数

毎年5月1日現在

年度	昭和32	36	40	44	48	52
学級数	30 (1)	36 (1)	35 (1)	36 (1)	31 (1)	24 (1)
児童数	1667	1854	1951	1375	1136	858
年度	昭和56	60	平成元	5	9	13
学級数	19 (1)	19 (1)	20 (1)	19 (1)	18 (1)	18 (2)
児童数	732	680	620	600	575	494
年度	平成17	21	25	29	30	令和元
学級数	20 (1)	19 (1)	19 (2)	19 (3)	19 (3)	19 (3)
児童数	594	619	536	502	498	532
年度	令和2	3	4	5	6	
学級数	23 (4)	23 (4)	24 (5)	24 (4)	26 (5)	
児童数	571	555	570	600	636	

3 武校区の地図



Ⅱ 「第1期まちづくりプラン」の振り返り

1 第1期の成果と課題

【成 果】

- 年度当初に作成した年間活動計画表に基づき、年間を通して、各部会の事業を計画したとおりに実施できた。また、武・田上公民館、各町内会、武小学校、武中学校とも連携して各事業を遂行できた。
- 青色パトロール隊による見守り活動を定期的に行ったり、防災勉強会を実施し、地域住民への学習機会の提供や避難所のレイアウト案の作成をしたり、安心安全なまちづくりに努めた。
- 3つの活動、①「オレンジリングをもらおう」活動、②みんなで行ってみっが語ってみっが、③ふれあいグラウンドゴルフ大会は、高齢者の方々と子供たちの異世代間のふれあい活動として楽しんでいる。
- 校区文化祭、立志のつどい、ふれあいオセロ教室、生活環境点検などの行事は、概ね狙い通りの成果が得られた。特に、ふれあいオセロ教室は、令和6年度から高齢者と児童のふれあいの場を設け、成果が得られた。
- 校区運動会を（手持ち）花火大会に変更し、子供から大人まで楽しむことができ大好評だった。

【課 題】

- 年間計画の中には、日程が重複又は実施時期が窮屈になったものがあるので、実施時期及び実施回数等を工夫し、各事業の参加者を増やす検討が必要である。
- 青色パトロール隊車両の老朽化が進んでおり、更新が必要となっている。安定した運行を行うために、隊員の確保も課題となっている。また、防災に関する地域住民の関心は高いが、防災勉強会等への参加・参画をより促していく必要がある。
- 身近な室内等での活動は、予定通り実施できるが、遠方での研修に利用する福祉バスが希望通りに取れず、日程の調整が厳しい。
- 校区文化祭には、小・中学校をはじめ、保育園・幼稚園・各サークル等の協力が得られたが一般の来場者が少ないことから、広報による集客や舞台発表・作品発表者の参加を促す活動の工夫が必要である。
- 校区ソフトボール大会の日程を、梅雨時期から1か月ずらして7月に開催するなど工夫したが、熱中症対策等をもっと考える必要がある。

2 各部会事業等の反省・評価

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
1	協議会だより発行	まちづくり推進部会	B	継続	広報紙の発行は、事業の情報が集まる事務局が行い、まちづくり推進部では、LINEを活用したデジタル掲示板を作成した。
2	武校区クリーンシティ作戦・ポイ捨て散乱ごみ回収実践活動		—	—	※ 各町内会が主体として実施
3	ごみ分別指導		—	—	※ 各町内会が主体として実施

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施 部会	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
4	校区安心安全ネットワーク 会議	まち づく り 推 進 部 会	A	継続	計画どおり実施。安心安全に関わる地域の 団体や県警と情報共有を図ることができた。
5	通学路暗がり点検		B	継続	あいご会等と連携して実施。 初めての参加者に点検のポイント等がわ かる工夫が必要。
6	登下校時の見守り活動		A	継続	青バトを使用して、週1回(主として金曜 日)見守り活動を行っている。
7	青色防犯パトロールの実施 (車両による広域パトロー ル)		A	継続	企業から車両の寄付を受け、計画どおり実 施した。隊員の確保が課題。
8	防犯パトロール		—	—	※ 各町内会が主体として実施
9	年末警戒パトロール		—	—	※ 各町内会が主体として実施
10	校区における防災計画 づくり(校区全体)		A	継続	年2回、大規模災害を想定した避難運営に 関する勉強会を実施し、体育館で避難所を開 設した際のレイアウト図を作成した。今後は 参加者を増やす工夫が必要。
11	自主防災組織による防災 計画づくり(町内会単位)		—	—	※ 各町内会が主体として実施
12	災害時危険箇所点検		—	—	※ 各町内会が主体として実施
13	避難訓練		—	—	※ 各町内会が主体として実施
14	避難行動等要支援者リスト への協力		—	—	※ 各町内会が主体として実施

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
15	ナイトスクール	まちづくり推進部会	—	—	※ 各町内会が主体として実施
16	交通安全教室		—	—	※ 各町内会が主体として実施
17	交通危険箇所点検		A	継続	計画どおり実施し、関係行政機関に申し入れを行い、改善を図った。
18	町内会の活性化、 加入促進活動		—	—	※ 各町内会が主体として実施
19	武の吉の秋祭り		—	—	※ 各町内会が主体として実施
20	おはら祭り参加		—	—	※ 各町内会が主体として実施
21	夏祭り		—	—	※ 各町内会が主体として実施
22	武岡ウォーキング		—	—	武町内会が、「歴史探訪ポイントラリー」として、年1回実施している。
23	サクラ祭り参加		—	—	宮田通り会が主体として実施。コロナ以降実施されていない。
24	「オレンジリングをもらおう」運動	ふれあい福祉部会	B	継続	年1回、児童生徒と大人を対象に、「認知症サポーター養成講座」を実施し、オレンジリングを獲得。事業名を変更して継続する。
25	見守り活動のつどい		—	—	※ ふれあい福祉部会では行っていない。各町内会で実施。
26	みんなで行ってみっが、 語ってみっが		B	継続	校区内の高齢者クラブ・お達者クラブが、年1回交流。福祉バスを利用して、見学研修を実施。福祉バスの予約が取れない場合は、室内で簡単なゲーム等で交流を深める。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施 部会	評 価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
27	高齢者クラブ お達者クラブ	ふ れ あ い 福 祉 部 会	—	—	※ ふれあい福祉部会では行っていない。 各クラブで、月2回程度実施。
28	ふれあいグラウンドゴルフ 大会		B	継続	高齢者クラブ・あいご会・児童クラブ等のチ ーム編成で、異世代間のふれあいや相互理解を 深められる。
29	介護講習会		—	—	※ ふれあい福祉部会は携わってはいない。 校区社会福祉協議会が、年2回実施。
30	子育てサロン		—	—	※ ふれあい福祉部会は携わってはいない。 校区社会福祉協議会が、月1回実施。
31	敬老会		—	—	※ ふれあい福祉部会は携わってはいない。 各町内会で実施。
32	校区文化祭	生 涯 学 習 部 会	B	継続	幼児から高齢者までが、日頃の学習成果を発 表・観賞する機会を設けることは有意義である が、一般の参加者を増やすことが課題。
33	地域総合文化祭への参加		B	継続	地域の交流を深めることができるので有意 義である。出演・出展者のほか、協議会役員は、 役員として駐車場整理等に従事した。
34	立志のつどい		A	継続	武小卒業の中学2年生のつどいで、参加者も 多く、講演会の内容も良かった。「立志の夢文 集」の作成も良かった。
35	青少年健全育成実行委員会 ・生活環境点検		B	継続	青少年健全育成実行委員会で、生活環境点検 (暗がり点検)を年2回行っており、安心安全 な環境作りに有意義である。
36	市民あいさつ運動		B	継続	町内会、小・中学校で取り組んでおり、引き 続き支援を行う。
37	あいご会活動		—	—	あいご会の行事は、生涯学習部会へのみの支援 ではなく、まちづくり協議会全体として支援し ている。
38	成人学級		B	継続	成人学級は、講座やふれあいの場を活発に行 っており、引き続き支援を行う。

※評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施 部会	評 価	継 続 廃 止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
39	女性学級	生涯学 習部 会	B	継続	女性学級は、学習や実技において、活発に行っており、引き続き支援を行う。
40	家庭教育学級		—	—	家庭教育学級の活動は、児童の保護者を中心に学習しており、協議会全体として支援を行う。
41	ふれあいオセロ教室		A	継続	児童の参加者も多く、敗者復活戦もあり、楽しい教室である。令和6年度からは、高齢者と児童の交流大会を実施し、充実を図る。
42	門松づくり		—	—	門松作りは、おやじの会が主体となっており、生涯学習部会のみでなく、協議会全体として支援している。
43	校区親睦体育大会	健康 づく り部 会	A	内 容 変 更 継 続	小学校の運動会と開催日が近く、参加者が見込めないため、花火大会に名称を変更して開催。
44	地域グラウンドゴルフ大会		A	継続	高齢者の方が、楽しんで参加しており、今後も、校区代表として参加したい。
45	スポレク大会		A	継続	地域の幅広い年齢層が参加し、楽しくプレイしている。今後も実施したい。
46	地域体育大会への参加		A	継続	校区代表として大会に参加し、楽しくプレイできた。今後も参加したい。
47	高齢者のためのヨガ教室		A	継続	月に1～2回程度開催しているが、参加人数が少ない。高齢者だけでなく、幅広い年齢層で増やしたい。

3 活動の様子



定期総会



役員会（毎月開催）



青色防犯パトロール



防災学習会



高齢者交流会（山田の凱旋門にて）



認知症サポーター養成講座



校区文化祭





ふれあいオセロ教室



立志のつどい



(手持ち) 花火大会



ソフトバレーボール大会



ソフトボール大会



グラウンドゴルフ大会



健康ヨガ教室

Ⅲ 「第2期まちづくりプラン」

1 計画の期間

2025年度～2029年度（令和7年度～令和11年度）＜5か年間＞

2 武校区まちづくりの目標

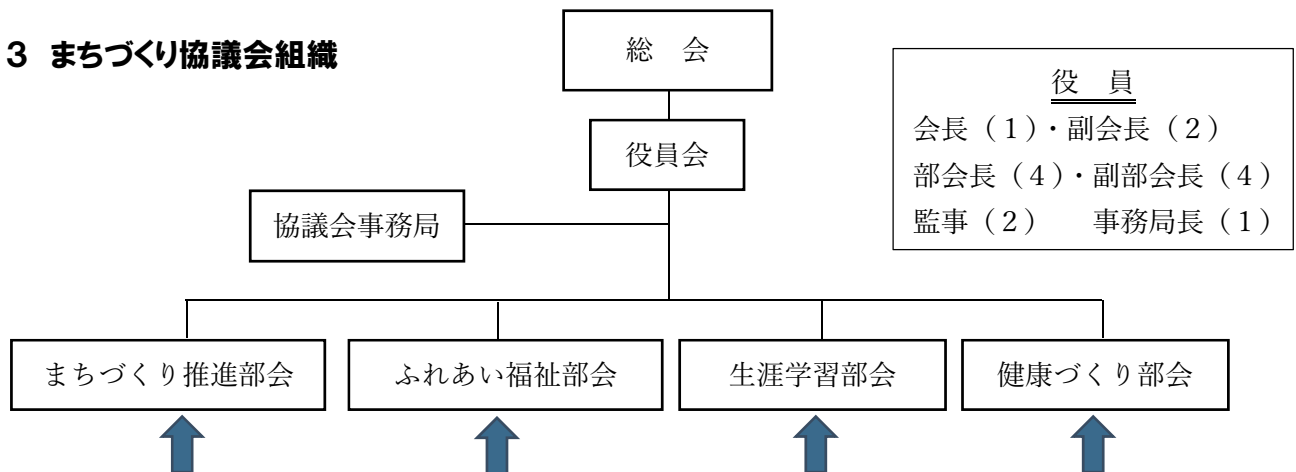
(1) まちづくりのスローガン

人と街 みんなで創る 武校区 ～未来輝く 明るく住みよい まちづくり

(2) 運営方針

- ア 校区住民が、連帯意識をもって地域の環境整備を図り、校区民が主体となったまちづくりを進める。
- イ 校区住民みんなが参加し、未来等への希望を出し合い、共に助け合いながら、まちづくりを進める。
- ウ みんなで創るまちづくりの目的を基本に、各構成団体間の連携、協働の取組を推進し、効率的に活動するため、役割を分担する運営組織により柔軟に活動を進める。
- エ 広報活動の充実に努め、まちづくりの情報の共有、諸活動への参加意識を啓発する。
- オ 地域課題、住民の声を大切にしたいコミュニティプランを策定し、自助・共助・公助の連携により事業プランの実現を目指す。

3 まちづくり協議会組織



武校区まちづくり協議会の構成団体		
武町内会	成人学級	医療法人起生会林内科胃腸科病院
唐湊城ヶ平町内会	女性学級	四本皮膚科アレルギー科クリニック
田上天神町内会	家庭教育学級	心療内科・精神科・いこまクリニック
唐湊みどり町内会	武幼稚園	内科三島クリニック
唐湊山の手町内会	武保育園	長島美術館
上荒田町内会11区	柳田保育園	株式会社日能研
上荒田町内会12区(ロフティ)	エンジェルキッズ保育園	株式会社協和建設
上荒田町内会13区(MJR鹿中央)	武校区青少年健全育成実行委員会	有限会社よしや蒲鉾店
Fステージ上荒田管理組合	武校区安心安全ネットワーク会議	株式会社大成電設
MJR唐湊管理組合	武校区社会福祉協議会	株式会社種子島商事
MJRザ・ガーデン鹿児島中央管理組合	武地区民生委員児童委員協議会	日本興業株式会社
武小学校	西交通安全協会武校区支部	株式会社渡辺組
武小学校PTA	武児童クラブ	株式会社朝日印刷
武小学校スクールゾーン委員会	武第二児童クラブ	武三なすび塾
武小通学保護員	高齢者クラブ若武会	地域安全モニター
武おやじの会	たてべ会お達者クラブ	TSネットワーク鹿児島流通センター
武中学校	宮田通り会	武校区見守り隊
武中学校地区PTA	ウエストサイドストーリー活性化実行委員会	アルティパス武
武校区あいご会	武消防分団	武福祉館
武校区スポーツ少年団連絡会	武郵便局	武小学校放課後子ども教室
武校区スポーツ推進委員	鹿児島銀行西武町支店	武小学校同窓会

4 武校区まちづくりプラン（振興計画）

【まちづくり推進部会】 ※ 事業実施年間評価 中（令和8年度）・終（令和10年度）

基本方針		○ 構成団体が連携し、住民が共につながりあい、安心して暮らすための社会づくり ○ 地域の課題と実態を把握し、具体的なプランの作成 ○ 町内会活動の活性化		事業実施年間評価	
活動内容		事業名	事業内容・事業効果		中 終
1	広報活動	協議会だより発行	内容 年6回発行する。協議会の活動の様子や案内等を掲載する。町内会等の回覧、構成団体への配布及び小学校をとおして家庭に届ける。 効果 校区住民に対し、まちづくりに関する啓発や活動内容を伝えることによって、住民の協議会への関心を高め、まちづくりへの関心を高めることができる。		
2	美化活動	武校区クリーンシティ作戦・ポイ捨て散乱ごみ回収実践活動	内容 年1回の「クリーンシティ鹿児島」に合わせて、自宅周辺の道路や公園のごみを拾う。 効果 市民総参加による美化活動をとおして、市民として、また校区民として、きれいなまちづくりへの意識を高め、実践活動を促すことができる。		
3	防犯活動	安心安全ネットワーク会議	内容 年3回、安心安全に関して活動している諸団体代表が一堂に会し、安心安全に関する情報収集や提供を行い、連携の在り方や実践活動等について協議する。 効果 校区内における安心安全保持に係る諸団体が、安心安全に関する情報を共有したり、連携して実践活動を行ったことによって、安心安全なまちづくりができる。		
4	防犯活動	通学路暗がり点検	内容 児童クラブに所属している児童の保護者・児童クラブ支援員・構成団体が、年1回、共同で暗がりを点検し、問題箇所についての解決策を協議する。 効果 校区の路上の暗がりを点検し、問題点の解決を図ることによって、児童クラブの帰宅時や校区民の安全確保ができる。また、点検結果をもとに、危険箇所マップを作成することによって、危険情報の共有化が図れる。		
5	防犯活動	登校時の見守り活動	内容 小・中学校の要請により、武校区見守り隊を結成し、登下校時や放課後の不審者等からの見守り活動を行うことによって、児童生徒の安全を確保する。 効果 校区民の各自が、できる時間帯に、できる見守り活動を随時行うことをとおして、児童生徒の安全を確保するとともに、安心で安全なまちづくりへの住民意識を高められる。		

【まちづくり推進部会】

活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
6	防犯活動	青色防犯パトロールの実施 (車両による広域パトロール)	内容 校区住民で青色防犯パトロール隊を組織し、校区内を年52回以上、車で巡回する。 効果 パトロール活動をとおして、児童生徒をはじめ校区民の安全確保とともに、安全意識の高揚、犯罪・事故の未然防止を図ることができる。		
7	防災活動	校区における防災計画づくり	内容 災害時に避難所の運営を行うための具体的な活動マニュアルを作成し、日頃から運営訓練を行う。また、災害時は、マニュアルに沿って、避難所を運営する。 効果 災害時の身近避難所運営を、身近な校区民が行うことで、迅速に避難所が開設でき、校区民に安心感を与えることができる。また、校区の実態や校区民に応じた対応が期待できる。		
8	町内会活性化活動	町内会の活性化、加入促進活動	内容 ごみステーション美化活動、見守り活動、防災・防犯活動等を充実させ、アピールすることによって加入を働きかけ、町内会活動を活性化させる。 効果 町内会やまちづくり協議会が行っている様々な活動を充実させることによって、町内会未加入者も含めた校区民に、町内会や協議会の必要性を感じ取らせることができる。		

【ふれあい福祉部会】 ※ 事業実施年間評価 中（令和8年度）終（令和10年度）

基本方針		○ 少子高齢化社会に対応し、共に支え合う地域福祉社会の環境づくりの推進 ○ 高齢者福祉、障害者、子育て支援、見守り等の啓発・推進		事業実施年間評価	
活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
9	見守り活動の推進	「オレンジリングをもらおう」運動	内容 年1回、武・唐湊・上荒田・田上の4箇所で、小学校4年生以上の児童・生徒と大人を対象として、「認知症サポーター養成講座」を実施し、校区民のオレンジリング（認知症サポーターの印）獲得を促進する。 効果 校区民の多くが「認知症サポーター養成講座」の受講をとおして、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になることによって、校区民が住み慣れた武地域で「その人らしい生活」を続けられることが期待できる。		
10	高齢者の交流活動	みんなで行ってみっが、語ってみっが交流会	内容 校区内の高齢者クラブ・お達者クラブ員が、年1回、一堂に会し、交流茶話会や見学研修旅行などを行う。呼びかけは、クラブ員だけでなく、校区全体に行う。 効果 高齢者クラブ・お達者クラブ員が、一堂に集まって語り合ったり、校区外に出かけたりする活動をとおして、各クラブの情報交換や人的交流をすることによって、連帯感を高めるとともに、クラブの参加者増が期待できる。		

【ふれあい福祉部会】

活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
11	高齢者と児童の交流活動	ふれあいグラウンドゴルフ大会	内容 高齢者クラブ、あいご会、児童クラブ等を組み合わせたチーム編成を行うことにより、異世代間のふれ合いや相互理解を深める。また、園児ゾーンを設けて、遊びの場を提供し、親しみを深める。 効果 高齢者と児童が混ざり合ってチームを編成し、グラウンドゴルフをとおしてグラウンドゴルフの楽しさを味わわせるとともに、高齢者と児童の相互理解を深めることができる。		

【生涯学習部会】 ※ 事業実施年間評価 中（令和8年度）終（令和10年度）

基本方針		○ 家庭・学校・地域が一体となった文化、教育力の向上等、生涯学習社会の実現 ○ 青少年の健全育成の推進 ○ 生涯学習の推進			事業実施年間評価
活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
12	文化交流活動 生きがい	校区文化祭	内容 毎年11月下旬の日曜日に、幼稚園・保育園・小学校・中学校、町内会、その他有志等が、日頃の学習の成果を、舞台発表や展示発表をする。 効果 幼児から高齢者までが一堂に会し、日頃の学習成果を発表したり、観賞したりすることをとおして、生きがいづくりができるとともに、文化に親しむ環境づくりが期待できる。		
13	づくり活動	地域総合文化祭への参加	内容 毎年開催される地域総合文化祭（武・田上公民館）に、10名程度が役員として運営に係わるとともに、舞台発表や展示発表（社会学級等）も行う。 効果 地域の文化活動の成果を、校区内外の人々に対して発表することをとおして、学ぶことのよさや楽しさを味わうとともに、評価を得ることができる。また、評価を得る喜びは、学び続ける意欲を喚起できる。		
14	青少年育成活動	立志のつどい	内容 毎年1月の第2土曜日、武校区内の全中学2年生を対象に、「立志のつどい」を行う。講話や先輩の体験談、将来の夢の発表などをとおして、立志を祝う。 効果 立志を迎える中学2年生を、校区全体でお祝いすることをとおして、大人へ近づいていく自覚や将来の夢を持たせるとともに、校区を担う存在であるということに目覚めさせることが期待できる。		

【生涯学習部会】

活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
15	青少年育成活動	青少年健全育成実行委員会・生活環境点検	内容 年2回、関係団体が集まり、青少年問題に関する情報交換や喫緊の課題への対応策等を協議する。また、健全な教育環境づくりのために、生活環境点検を行い、安全マップの作成・改善を行う。 効果 次世代を担う青少年の健全育成を図るために、家庭・学校・地域が一体となって活動することによって、地域の子供は、地域全体で育てるという気風を醸成し、豊かな生活環境づくりができる。		
16		市民あいさつ運動	内容 校区住民みんなが参加し、登下校時の見守り活動の際、児童生徒と大人が交互にあいさつ交わす運動。地域住民へも、普段からあいさつを交わし合うことを呼びかける。 効果 児童生徒と地域住民が、日頃からあいさつを交わすことで、地域に一体感が生まれ、安心安全な環境づくりができる。また、地域の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせることは、地域の教育力の向上に繋がる。		
17	学び合い活動	成人学級	内容 校区内の成人男女を対象に、学級長や役員が中心となって、年8回程度人権問題や消費者教育等の様々な講座を企画・運営する。 効果 一般的な教養や技能を習得するとともに、生涯学び続けようとする機運を高め、生活を豊かにすることができる。また、地域貢献への意識を高めることが期待できる。		
18		女性学級	内容 校区内の成人女性を対象に、学級長や役員が中心となって、年8回程度人権問題や消費者教育等の様々な講座を企画・運営する。 効果 一般的な教養や技能を習得するとともに、生涯学び続けようとする機運を高め、生活を豊かにすることができる。また、地域貢献への意識を高めることが期待できる。		
19	世代間交流活動	ふれあいオセロ教室	内容 オセロゲームの基本を学び、高齢者と児童、親子等の組合せでゲームを楽しむことをとおして、世代間交流を図る。 効果 小学生以上を対象に、「オセロゲーム教室」を開催し、ゲームの対戦や教え合い等をおして、世代間交流を図ることができる。また、高齢者の脳の活性化が期待できる。		

【健康づくり部会】 ※ 事業実施年間評価 中（令和８年度）終（令和１０年度）

基本方針		○ 地域住民の健康増進、ふれあいの機会の充実を図るレクリエーション、体育的行事等の推進 ○ 少年のスポーツ参加の支援		事業実施年間評価	
活動内容		事業名	事業内容・事業効果	中	終
20	交流活動	校区親睦花火大会	内容 毎年１０月第３土曜日に、幼児、小学生を対象に手持ち花火を配布し、保護者管理のもと親睦花火大会を実施する。 武小学校金管バンドの演奏、ナイトスクール（夜の交通安全教室）も併せて実施する。 効果 普段花火をする場所や機会がないことから、子供たちが保護者に見守られながら歓声を上げて楽しむことによって絆を深めるとともに、郷土の夏の風物詩に触れることができる。		
21		地域グラウンドゴルフ大会	内容 武・田上公民館主催のグラウンドゴルフ大会に、町内会単位で出場する。チーム編成に性別・年齢の制限はない。参加者の取りまとめを健康づくり部会で行う。 効果 町内会単位で、年齢・性別制限なしのチーム編成をすることで、町内会内での絆づくりや世代間交流ができる。また、グラウンドゴルフに親しむことで、健康・体力の保持・増進が図れる。		
22	健康体力づくり活動	スポレク大会	内容 １８歳以上の校区民や校区に職場がある人々で、町内会単位のチームを編成し、スローピッチソフトボールやソフトバレーボールを行う。 効果 スポーツに親しむ習慣や機会が少ない人々が、比較的親しみやすいニュースポーツをチームで楽しむことで、スポーツのよさを味わい、健康・体力の保持・増進の意識を高めるとともに、親睦を図ることができる。		
23		地域体育大会への参加	内容 武・田上公民館で行われる地域体育大会のソフトボール（２チーム）とソフトバレーボール（３チーム）に校区代表が参加し、競技をとおして校区内外の人々との交流を図る。 効果 校区内でチームを編成し、校区対抗の大会に参加することをとおして、競技を楽しみながら校区民の絆を深めるとともに、他校区の人々との交流を図ることができる。		
24		高齢者のためのヨガ教室	内容 高齢者を中心に希望者を募り、校区公民館等で、講師の指導のもと、ヨガを楽しむ。また、体を動かした後の情報交換として、語り場も設置する。 効果 アンケートで開設の希望が多かった高齢者にも取り組みやすいヨガを体で学んだり、ヨガの後の語り合いを楽しんだりすることをとおして、心身の健康の保持・増進を図ることが期待できる。		

武校区まちづくりプラン(振興計画) 町内会等への支援事業

(令和7年度～令和11年度)

番号	支援担当部会	活動内容	事業名	事業内容
25	まちづくり推進部会	美化活動	ごみ分別指導	町内会において、年4回程度のごみ分別指導を行う。また、花の植え替え等を行い、ごみステーションの維持管理をする。
26		防犯活動	防犯パトロール	町内を定期的に巡回する防犯活動。月1回、歩いて巡回する。コンビニ、商店、暗がり、公園、ごみステーション、空き家等をまわる。
27			年末警戒パトロール	町内を、大人と子どもと一緒に拍子木をたたき、標語を唱えながら一巡し、防火・防災の意識の啓発を図る。
28		防災活動	自主防災組織による防災計画づくり	町内会で自主防災組織を立ち上げ、情報連絡体制の確立、要配慮者の把握、災害時危険箇所の把握、防災訓練等を行う。
29			災害時危険箇所点検	急傾斜地や崖下等の災害危険区域を巡回・点検し、気がかりな事項等を行政関係者と協議し、災害を未然に防止する。
30			避難訓練	町内会ごとに指定された避難所への避難訓練を行う。訓練の内容は、適時の避難、避難所への移動経路、避難所生活、避難所運営等を行う。
31			避難行動等要支援者リストへの協力	自主防災において、避難マニュアル作成の一環として、要支援者のリストアップと要支援体制を作成し、周知する。
32		交通安全教育活動	ナイトスクール	高齢者のための夜間の交通教室。自動車学校において、夜間における人と車両の関係や夜間歩行の留意点等について講義と実技研修を行う。
33			交通安全教室	警察や交通安全センターによる講話や安全歩行指導、また、自転車の正しい乗り方の実技講習などを行う。
34			交通危険箇所点検	定期的に、交通安全上の気がかりな箇所を点検したり、アンケート調査をしたりするとともに、改善策等について協議し、行政機関に要望する。
35		交流活動	武の吉の秋祭り	子どもから大人までが一緒になり、「徳の交わり」坐像の清掃・講話・昔遊びなどをとおして、西郷の教えを学ぶ。
36			おはら祭り参加	鹿児島市最大の祭りである「おはら祭り」に、町内の小中学生・大人が合同練習をし、連をつくり祭りに参加する。
37			夏祭り	各町内会で、実行委員会・青年部・あいご会等が中心となって、灯籠作り・七夕飾り作り・子ども御輿・舞台発表・出店等を企画し、実施する。
38			武岡ウォーキング	西郷公園(徳の交わり)を起点に3世代交流を行いつつ、郷土の文化・歴史・自然を知るまち歩きを行う。

番号	担当 部会	活動内容	事業名	事業内容
39		商店街活性化活動	サクラ祭り参加	協議会だよりで、「サクラ祭り」の紹介や参加の呼びかけを行う。また、サクラ祭りの一角にまちづくり協議会の案内ブースを設け、事業内容等を紹介する。
40	ふれあい福祉部会	見守り活動の推進	見守り活動のつどい	「さりげない、無理のない、立ち入らない」見守り活動を、できる範囲で行うことで、安否確認や迅速連絡により、早い時期での問題解決に繋がるようにする。
41		高齢者の交流活動	高齢者クラブ お達者クラブ	各クラブにおいて、月2回程度、介護予防のための体操や創作活動、ボランティア活動、レクリエーション、世代間交流等を行う。
42		研修活動	介護講習会	介護福祉に関する講話と実技研修をとおして、介護される人への声かけや心遣いの大切さ、また、介護する人の体の負担にならない介護技術を学ぶ。
43		子育て支援活動	子育てサロン	月1回、民生委員や武幼稚園の協力で未就園児とその親を対象に、武町公民館で開催。子ども同士の遊び、季節に関するものの製作、母親の交流等を行う。
44		高齢者との交流活動	敬老会	町内会でそれぞれ工夫して、祝い品や記念品の贈呈、弁当及び幼児・児童・生徒からのお祝いカード贈呈・余興の披露などによって、長寿を祝うとともに、世代間の交流を図る。
45	生涯学習部会	青少年育成活動	あいご会活動	<西郷どん遠行> 西郷公園（「徳の交わり」）を起点にし、西郷南洲翁縁の地を巡りながらその遺徳を学ぶとともに、3世代の交流を図りながら、南洲神社まで歩く。 <あいご会資源回収> 年2回、地域住民に資源提供を依頼し、児童生徒・保護者が中心となって回収する。 <ユースドリームフェスティバル> 武・田上公民館地域内の小・中学校やあいご会等が、武・田上公民館において舞台発表等を行う。 <あいごつばめブロック子ども大会> 近隣のあいご会が一堂に会し、活動報告やスポーツ交歓会を行う。 <ラジオ体操及び清掃> 夏休み期間中の早朝に、小中学生が決められた場所に集まって、ラジオ体操を行う。また、公園等の清掃を行う。
46		学び合い活動	家庭教育学級	小学校の保護者を対象に、学級長や役員が中心となって、年8回程度、基本的な生活習慣、人権教育、スマホ等の情報機器に関することなどの講座を企画・運営する。
47		季節行事継承活動	門松づくり	おやじの会が中心となって、小学校正門の門松を作る。また、校区民が作るミニ門松の材料を準備し、門松の由来や作り方を指導する。

IV 資料編

1 「第2期まちづくりプラン」策定委員会名簿

氏 名	まちづくり協議会役職	氏 名	まちづくり協議会役職
吉 岡 直 志	会長	朝 野 太 輝	副会長
田 上 豊	事務局長	松 尾 晴 代	副会長
宮 城 誠 也	まちづくり推進部会 部会長	中 豊 司	アドバイザー（まちづくり推進部会）
大倉野 忠幸	まちづくり推進部会 副部会長	柴 立 鉄 平	アドバイザー（まちづくり推進部会）
木 原 恵 子	ふれあい福祉部会 部会長	寺 原 芳 子	アドバイザー（ふれあい福祉部会）
徳 田 朝 子	ふれあい福祉部会 副部会長		
福 山 勉	生涯学習部会 部会長	白 山 浩 也	アドバイザー（生涯学習部会）
辛 島 史 朗	生涯学習部会 副部会長		
濱 園 剛 司	健康づくり部会 部会長	五反田 新一	アドバイザー（健康づくり部会）
原 邦 朝	健康づくり部会 副部会長		

2 アンケート調査結果

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

アンケートの内容は、第1期プラン作成時に行った内容の中から抽出した質問に、新規の質問を加えました。

第1期と同じ設問については比較してみましたが、ほとんどの質問において大きな変化は見られませんでした。この結果を「第2期まちづくりプラン」策定の参考資料としました。

今後は、この結果を踏まえ、まちづくり協議会の運営に生かしてまいります。

(1) アンケート回答者 【配布数3, 322枚、回答数1, 327、回収率39.9%】

① 年代 20～40歳(15.5%) 41～64歳(45.2%) 65歳以上(39.3%)

② 性別 男性(26.1%) 女性(71.4%) 回答なし(2.5%)

③ 住まい 武(56.8%) 田上天神(10.4%) 唐湊(14.1%) 上荒田(18.7%)

(2) 主なアンケート集計結果

◆ 第2期に加えた質問

【問13】まちづくり協議会とその活動を知っていますか。

事業名等	認知者/回答者 (%)	事業名等	認知者/回答者 (%)
武校区まちづくり協議会	55.0	ソフトボール・ソフトバレー大会	25.2
協議会事務局の場所	25.8	オセロ大会	19.9
青色パトロール	63.3	健康ヨガ教室	23.2
校区環境点検	25.5	認知症サポーター講習会	15.9
暗がり点検	15.1	校区文化祭	53.7
防災学習会	21.6	武・田上総合文化祭	40.6
安心安全ネットワーク会議	17.6	花火大会	53.4
スクールガード	58.0	高齢者交流会	19.3
成人学級・女性学級	38.5	立志のつどい	32.3
グラウンドゴルフ大会	36.9		

まちづくり協議会についての周知が進みつつある。「協議会だより」や回覧板・掲示板等を活用して、協議会の事業や運営についての広報を工夫し、まちづくり協議会への理解とまちづくりへの参画意識を高めていく。

【問14】今後参加してみたい活動・行事（複数回答）

事業名等	希望者/回答者 (%)	事業名等	希望者/回答者 (%)
防災学習会	27. 2	オセロ大会	9. 5
スクールガード	9. 9	健康ヨガ教室	22. 5
成人学級・女性学級	11. 3	認知症サポーター講習会	19. 1
グラウンドゴルフ大会	6. 3	校区文化祭/地域総合文化祭	15. 1
ソフトボール大会	4. 9	花火大会	39. 9
ソフトバレー大会	7. 7	高齢者交流会	11. 8

第1期では参加者が少なかった学習や健康に関する事業への関心が高まりつつある。事業内容や広報を工夫し、より多くの校区民が参加できるようにすることによって、安心・安全・健康なまちづくりに取り組む。

◆ 第1期と同じ質問

【問5】地域は住みやすいと思いますか。

	回答率(%)
ア はい	94. 8
イ いいえ	5. 2

【問6】住みやすい理由

	回答率(%)
子育てしやすく教育環境が良い	5. 8
近所付き合いがよい	9. 9
生活に便利	59. 8
安心安全なまち	13. 8
行事や活動が盛ん	0. 8
永く居住・知人が多い	8. 7
その他	1. 2

【問7】不安に思う災害がありますか。（複数回答）

	回答率(%)
ア 地震	42. 2
イ 桜島の噴火	13. 3
ウ 大雨による土砂災害・水害	26. 1
エ 台風	17. 8
オ その他	0. 6

【問8】生活面の不安（複数回答）

	回答率(%)
ア 空巢の被害	15. 8
イ 子供や女性に対する犯罪・不審者	25. 6
ウ 高齢者に対する犯罪	13. 2
エ 交通事故	34. 1
オ 空き家のもらい災害	5. 1
カ 孤独死	4. 4
キ その他	1. 8

【問9】日頃の悩みや不安（複数回答）

	回答率(%)
ア 自分や家族の健康	40. 2
イ 家族の介護	8. 8
ウ 自分の老後	26. 7
エ 子育てや子供の教育	18. 0
オ 地域の人間関係	4. 6
カ その他	1. 7

【問10】青少年問題で気になること（2つ）

	回答率(%)
ア いじめ	27. 0
イ 不登校、ひきこもり	18. 0
ウ 夜間徘徊	2. 5
エ 暴力行為	4. 9
オ 非行の低年齢化	10. 4
カ インターネットによるトラブル	36. 8
キ その他	0. 4

【問11】青少年育成で協力できること

	回答率(%)
ア 登下校時のあいさつ・声掛け	51. 3
イ 困りごとの相談に乗る	20. 2
ウ スクールガード等の見守り	12. 4
エ 学校支援ボランティア	6. 7
オ 行事での交流	6. 6
カ 青色パトロール参加	1. 6
キ その他	1. 2

【問12】健康・体力づくりのための活動

	回答率(%)
ア ウォーキング、ラジオ体操	43. 8
イ スポーツクラブ・同好会	12. 4
ウ 校区・町内会等のイベント	3. 6
エ 市の福祉設備	2. 9
オ 何もしていない	37. 3

